Autumn/2018/vol.20

北翔

Kitajima Express HOKUSHOU

YN邸

北島恒例
アフターフォロー
談 義

竣工後の「YN邸」を訪ねて
～SE構法の建物を観る！～

ただいま施工中！ ――「(仮称)グループホーム プラチナホーム宮前他新築工事」

ただいま施工中！ ――「原石材店 新築工事」

北島工務店にお任せください！ ―― リフォーム施工事例

Play Back ―― 写真でたどる麻生の歴史

第六部　地震が多い日本だから、震災を耐え抜く家が必要

日ごろ使われる建築用語

編集後記

北島恒例
アフターフォロー
談義

耐震構法 SE構法 の建物を観る！ 竣工後の 「YN邸」を訪ねて

百合丘の家新築工事

キタジマが自信を持っておすすめする、地震に強いSE構法の家。
前回ご紹介した「YN邸新築工事」が無事に竣工・引渡しが完了し、4ヶ月が経過しました。
オーナー様に実際に住まわれての感想などを伺いました。

▲1階LDK

▲1階キッチン

▲1階ウッドデッキ

●今回新築するにあたり、SE構法を選んだ理由をお聞かせ下さい。

以前、実家を北島工務店施工のSE構法で新築した縁があり、両親・工務店の薦めで決断しました。耐震性に優れ、大型窓に広い部屋が実現出来ました。

●壁・天井材に珪藻土を採用されましたが、室内環境はいかがでしょうか。

調湿性に優れ、冬場の窓の結露が抑制出来ると薦められた事と、体にやさしい材料との事で珪藻土を選択しました。

▲2階廊下

▲1階洋室

▲2階洋室

▲2階子供部屋

▲2階寝室

●床フローリングや腰壁材に無垢材を採用されました。無垢材ならではの肌触りや風合いの感想をお聞かせ下さい。

松板の柔らかい感触と見た目の良さや、植物性オイルによって仕上げたことで安心感があります。

●その他こだわった間取りや設備などありましたらお聞かせ下さい。

33帖の広いリビングダイニングキッチンが実現出来ました。当初設計の片開き室内建具を一部片引き建具に変更して、使い勝手が良くなり満足しています。

●引渡し後4ヶ月を過ごされた御感想をお聞かせ下さい。

とても快適に生活できて、子供達も喜んでいます。

●工事中、竣工後の弊社の対応はいかがでしたか?

間取り、仕上材、施工精度等、満足出来た対応でした。

▲1階浴室

【建物概要】
所在地：川崎市麻生区万福寺
階数：2階建
建築面積：133.63㎡
延べ面積：191.40㎡
用途：専用住宅
設計・施工：株式会社北島工務店

▲1階洗面化粧台

▲2階洗面化粧台

北島工務店がおすすめする地震に強い家

耐震構法
SE構法

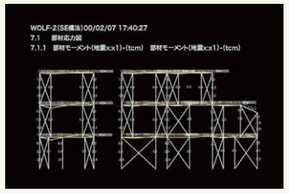
北島工務店では、東日本大震災で起こった津波にも耐えた実績のあるSE構法による家づくりをしております。いつまでも安心して住まい続ける家づくりをお約束いたします。

集成材

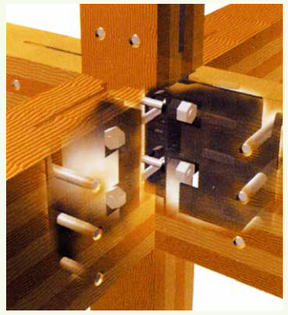
天然木材の長所をそのままに、反り、ねじれ、割裂、などの欠点を克服し、飛躍的な強度を実現。これにより安定した品質を生みだし、構造計算を可能にし、大規模木造建築物をも可能にしました。

SE金物

SE構法のすべての接合部は、独自開発によるSE金物によるハードジョイントにより構成しています。これにより自由な空間作りを実現する構造強度を確保しています。


構造計算

SE構法は、木造住宅においても、大規模建築物と同様の応力解析による構造計算を実施。台風・地震・などの自然災害もシュミレーションをし、その安全性を確認しています。


ハードジョイント

北島通信 ただいま施工中!

「(仮称)グループホーム プラチナホーム宮前他新築工事」

東急田園都市線「鷺沼」駅から徒歩約20分の敷地に、グループホームの新築工事を行っております。隣接する2つの敷地に機能の異なる2棟を建設中です。

A棟は主に共同生活介護を行い、B棟は小規模多機能型居宅介護を行う予定です。

10月末の竣工・引渡しを目指し、関係者の協力を得ながら工事を進めてまいります。

▲地鎮祭

▲A棟 地盤改良工事

▲A棟 基礎工事

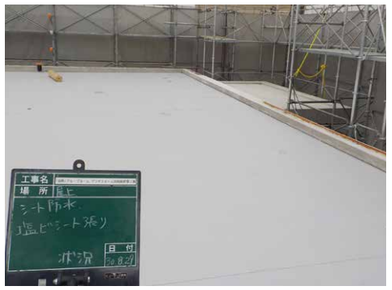
▲A棟 鉄骨建方

▲A棟 スラブ 打設

▲B棟 土工事

▲B棟 基礎工事

▲A棟 外壁工事



▲A棟 防水工事

▲B棟 建方工事

【建物概要】
所在地：川崎市宮前区有馬
構造：(A棟)鉄骨造 (B棟)木造
階数：(A棟)地上3階建 (B棟)平屋
建築面積：(A棟)426.86㎡ (B棟)375.13㎡
延べ面積：(A棟)982.26㎡ (B棟)337.11㎡
用途：(A棟)認知症対応型共同生活介護 他
(B棟)看護・小規模多機能型居宅介護
設計・監理：坂倉建築研究所 東京事務所

北島通信 ただいま施工中!

「原石材店 新築工事」

世田谷町田線の道路拡幅のため、既存店舗・住宅の解体し道路境界線が後退した敷地に、店舗・住宅の新築工事を行っております。

6月に着工し、現在地下躯体工事まで進んでおり、この後鉄骨建方へと移行します。お客様の声を聞きながら、12月の竣工を目指し安全第一で工事を進めてまいります。

▲地鎮祭

▲根切り工事

▲山留工事

▲地盤改良工事

▲根切り完了

▲基礎躯体型枠

▲基礎躯体コンクリート打設

▲鉄骨建方

▲上棟

▲デッキスラブ敷込

【建物概要】
所在地：川崎市麻生区古沢
構造：鉄骨造
階数：地下1階 地上3階建
建築面積：105.54㎡
延べ面積：359.96㎡
用途：店舗・住宅
設計・施工：株式会社北島工務店

北島通信

北島工務店にお任せください!

幼稚園教室改修工事

【Before】〈既存教室状況〉30年使い続けた教室は、壁の塗装も剥がれ、床のフローリングもボロボロです。

【After】〈教室改修完了状況〉床･壁･天井共全てを改修。ロッカーも新規に造り直して、照明器具もLEDに交換し、明るくなりました。

【Before】〈既存幼児流し状況〉長年の水跳ね等で、壁も床もボロボロ状態です。

【After】〈新規幼児用マルチシンク〉壁は水に強いパネルを張り、鏡も大型の物を使用し、見易くなりました。

【工程1】〈既存床解体完了状況〉新規床組前状況

【工程2】〈新規床下地組状況〉置き床工法を採用、支持脚も文教施設用を使用しました。

【工程3】〈新規床下地組完了状況〉置き床の上に、ベニヤ張りし完了です。

【工程4】〈新規床張り状況〉新規フローリング張り。継ぎ目をずらしながら張って行きます。

【工程5】〈掲示ｸﾛｽ貼替状況〉既存ｸﾛｽを剥がして、下地処理完了です。

【工程6】〈教室正面側〉壁面クロス貼完了し、既存の黒板からホワイトボードに交換しました。照明もLEDです。

【工程7】〈新規ロッカー据付状況〉幼児、先生用ロッカーも新しく造り直しました。

【工程8】〈改修完了〉備品及び既存設備機器の設置も終わり、完了です。

キタジマのリフォーム

この安心感…なるほど!これがゼネコンの技術力!

一級建築士・一級施工管理技士が「住まいづくり」にきめ細やかな対応を致します。

おまかせください。地元ゼネコンだから安心です!

お客様のライフスタイルに合わせた”住まい”を提案いたします!!

外壁・屋根の補修、塗装、葺き替えや耐震補強など建物のリニューアルや、生活スタイルの変化に応じた住空間のリニューアル。リフォームの内容はもとより、ご予算のこと、工事期間のことなど何でもご相談下さい。

キッチン

バス

トイレ

屋根

お問い合わせは 株式会社北島工務店 住宅&リフォームセンター TEL.044-952-1000

PLAY BACK 写真でたどる麻生の歴史

1989年(昭和64年/平成元年)

川崎市麻生環境センター稼働
（現・麻生水処理センター）

麻生水処理センターと多目的広場としての麻生ふれあいの丘などの複合施設。

麻生老人福祉センター 開設

高齢者の各種相談に応じ、高齢者と地域住民との交流を図りながら文化・教養の向上及びレクリエーションなどのために利用される。

昭和音楽芸術学院移転開校
（現・昭和音楽大学）

東京声専音楽学校を昭和音楽芸術学院と改称、新百合ヶ丘に移転開校。

新百合ヶ丘駅周辺

左／現在イオンが建っている場所はまだ空き地だった。右／南口ペデストリアンデッキからは、今はエルミロードに隠れる３棟のビルが見られた。

北島工務店はこの年、麻生老人福祉センター、応無荘、TN ビルティ・エヌ壱番館ビルなどを施工しました。

麻生老人福祉センター（昭和64 年撮影）

応無荘（昭和64 年撮影）

TN ビルティ・エヌ壱番館ビル（昭和64 年撮影）

私たちが選んだSE構法の空間づくり

キタジマが自信を持っておすすめするSE構法。その理由を紹介していきます。

第六部　地震が多い日本だから、震災を耐え抜く家が必要

■世界で起こる大地震の22%は日本で起きている。

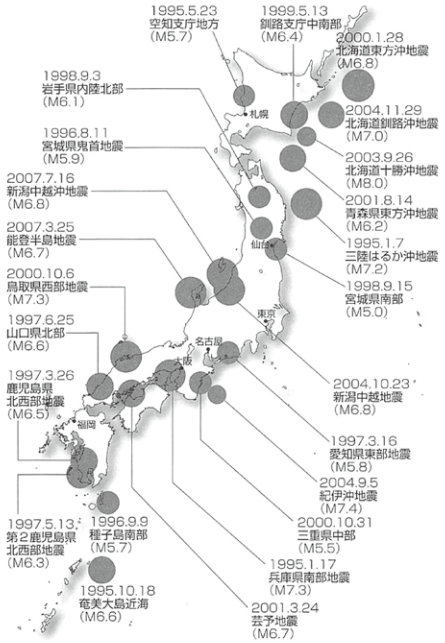
阪神大震災では6,434名の方が亡くなっています。そのうちの約9割が家屋の倒壊による圧死です。

■震災に耐えた「SE構法」の家

2007年の新潟県中越地震の激震ゾーンに建つG邸は、内部の構造材があらわし仕上げだったため、躯体損傷の有無を明確に確認することができました。

現地の目視調査では、耐力壁や接合部をはじめ、躯体の損傷はありませんでした。また、建物内の水平・垂直の計測でも、変形はありませんでした。

地震後のG邸外観



建具の動きにも支障がないことから、構造体のゆがみも無いと思われる。

日ごろ使われる建築用語

がらんどう（伽藍堂）

三省堂「大辞林」の解説では、『広い所に何もないこと。また、そのさま。がらんど。「家の中はがらんどうだ。」』と記されています。

「がらんどう」が建築用語に由来していることを、ご存じでしょうか?

漢字では「伽藍堂」と書き、寺院、神社などの大きくて広く立派な建物を総称して、使われています。

「伽藍（がらん）」はウィキペディアに拠れば、『僧侶が集まり修行する清浄な場所の意味であり、後には寺院または寺院の主要建物群を意味するようになった。サンスクリット語のソウギャランマの音写で、「僧伽藍摩（そうぎゃらんま）」「僧伽藍」が略されて「伽藍」と言われた。』とあります。

「堂」を三省堂大辞林は「神仏をまつる建物。多くの人の集まる所。客に接したり、礼楽を行ったりする所。と解説しています。

日本語俗語辞書は「がらんどうとは建物の中に人がおらず、物もあまりない閑散としたさまを表す。がらんどうとはもともと寺院にある伽藍堂のことである。寺院のお堂は広く、人もあまりいないことからきた言葉であり、本来は寺院のように広い建物に人や物がないさまを指した。」と紹介しています。

「がらんがらん」「がらんとしている」「がらがら」「がら空き」などの表現は伽藍堂に由来していると、様々な文献には書かれています。

◀薬師寺

◀法隆寺

【編集後記】　今年は、西日本で起きた豪雨による水害や、北海道胆振東部地震による災害など、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当社としては、災害に強い家づくりを通してお役に立つことができるように日々、取り組んで参る所存です。

株式会社北島工務店

本社　〒215-0021　TEL.044-954-1111(代)
川崎市麻生区上麻生3丁目20番6号

www.kita-jima.co.jp

信築快築
キタジマの住宅&リフォーム

KAWASAKI Frontale
私たちはKawasaki Frontaleを応援しています。